



□大会第4日目 6月2日(日)

準決勝 石巻市民球場 2時間 18分

仙台第二	0	0	0	0	1	2	3	0	0	6	【二】	33	7	5	3	0	4	5	4	4	0
仙台第一	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	【一】	30	2	1	1	2	5	5	9	0	0

(球) 佐藤浩 (一) 高橋正博 (二) 石川英孝 (三) 三浦昌浩  
 【二】 伊藤 一 矢内  
 【一】 富田, 加藤 一 佐々木紳  
 ▽暴投 伊藤1(二), 富田1(一) ▽ホーク なし ▽捕逸 なし ▽本塁打 なし  
 ▽三塁打 矢内, 木皿(二)  
 ▽二塁打 鈴木, 成田, 吉田 (二)  
 吉田 (一)

先攻	チーム	【 仙 台 二 】				
打順	位置	氏名	打数	安打	打点	
1	8・3	樋口	4	1	0	
2	6	鈴木	3	1	3	
3	2	矢内	4	1	1	
4	5	中谷	4	0	1	
5	1	伊藤	4	0	0	
6	9	木皿	3	1	0	
7	7	成田	4	1	0	
8	4	吉田	4	2	0	
9	3	加藤	2	0	0	
	H	貫井(詢)	0	0	0	
	8	外山	1	0	0	
		計	33	7	5	

後攻	チーム	【 仙 台 一 】				
打順	位置	氏名	打数	安打	打点	
1	5	高柳	5	0	0	
2	2	佐々木	3	0	0	
3	1・3	富田	4	1	0	
4	3・6	鈴木(碧)	4	0	0	
5	7	佐藤	2	0	0	
6	8	吉田	4	1	1	
7	9	鈴木(皓)	3	0	0	
8	4	本郷	0	0	0	
	H	高橋	1	0	0	
9	6・1	加藤	4	0	0	
		計	30	2	1	

【評】

伝統の一戦となった準決勝第一試合。序盤は一高が押し気味に試合を進め、三回、相手失策で出た富田を二死から6番吉田が左越え二塁打で返して先制した。流れが変わったのは五回。四回までは一高の富田投手に無安打に抑えられたが、五回一死から6番木皿がチーム初安打となる右越え三塁打で出塁すると、木皿は続く成田の投ゴロの間に絶妙の巧走塁で得点し同点とした。続く六回には1番樋口がバントヒットで出塁し、ワイルドピッチと盗塁で一死三塁とした後、3番矢内の右越え三塁打で逆転した。この回ヒットエンドランでさらに1点を加えた二高は、七回にも一高の加藤投手から2番鈴木の出塁となる左二塁打で3点を奪い試合を決定付けた。一高は先制はしたが、四回以降は四死球や相手失策で走者は出すものの二高の伊藤投手の伸びのあるストレートを打ちあぐみ、四回以降は無安打に抑え込まれた。少ないチャンスを巧みな走塁で得点に結びつけ、試合の流れを引き寄せる二高の試合巧者が際立った試合であった。

準決勝 石巻市民球場 2時間 7分

仙台工業	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4	【工】	37	10	4	4	1	3	1	7	2	0
仙台商業	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1x	5	【商】	30	5	5	1	3	7	1	7	0	1

(球) 福田好伸 (一) 佐藤正江 (二) 細川和行 (三) 浅野雅訓  
 【工】 桃井, 酒井 一 阿部由  
 【商】 高橋堅, 阿部, 宮田 一 及川, 佐々木虎  
 ▽暴投 高橋堅1(商) ▽ホーク なし ▽捕逸 なし ▽本塁打 なし  
 ▽三塁打 酒井(工)  
 ▽二塁打 相澤, 酒井 (工)  
 なし (商)

先攻	チーム	【 仙 台 工 業 】				
打順	位置	氏名	打数	安打	打点	
1	3	石母田	1	0	0	
	1	酒井	4	3	1	
2	1・3	桃井	4	0	0	
3	5	兼子	5	1	1	
4	9	鈴木	5	2	0	
5	7	阿部(混)	3	0	0	
6	8	富樫	3	1	0	
7	4	赤間	2	1	0	
	H・4	相澤	2	1	2	
8	2	阿部(由)	4	0	0	
9	6	門間	4	1	0	
		計	37	10	4	

後攻	チーム	【 仙 台 商 業 】				
打順	位置	氏名	打数	安打	打点	
1	3・2	佐々木(虎)	4	0	0	
2	5	鈴木	4	2	0	
3	8	武山	3	0	1	
4	9	佐藤(魁)	4	2	3	
5	7	高橋(将)	2	0	0	
6	4	平山	3	0	0	
7	6	佐々木(蓮)	4	1	1	
8	1	高橋(堅)	2	0	0	
	1	阿部	1	0	0	
	PH	高橋(颯)	1	0	0	
	1	宮田	0	0	0	
9	2	及川	2	0	0	
	H・3	佐藤(楽)	0	0	0	
		計	30	5	5	

【評】

第一試合目につき、伝統の一戦となった仙台商業と仙台工業の一戦。初回、仙台商業は相手のエラーに乗じて4番佐藤(魁)の中前打で先制した。その後は両投手の好投によりランナーを出すことができず試合が進んだ。整備明けの六回、それまで1安打に抑えられていた仙台工業は9番門間が右前打で出塁すると、1番酒井が中前打を放ち1点を返した。続く7回も仙台工業は一死から5番阿部(混)が死球で出塁すると、代打相澤が右越え二塁打で逆転とした。8回にも1点を追加した仙台工業は2点差とし8回裏を迎えた。2点を追いかける仙台商業は8回裏、先頭の代打佐藤(楽)が死球で出塁するとエラーも絡み3番武山の内野ゴロの間に1点を返した。9回裏も5番高橋(将)が死球で出塁し、一死二塁の場面で7番佐々木(蓮)の左前打で同点とした。そして10回裏、9番佐藤(楽)が再び死球で出塁し内野安打や四球で1死満塁のチャンスを作ると、4番佐藤(魁)がこの試合3打点目となる左越えサヨナラ安打で試合を決めた。中盤以降、仙台工業が力を見せる展開となったが、最後は仙台商業らしさが存分に出た試合となった。

□大会第5日目 6月4日(火)

決勝 石巻市民球場 2時間 1分

【二】	29	7	3	3	4	6	4	9	2	0
【商】	30	3	2	2	0	2	6	3	1	0

(球) 佐藤浩 (一) 鴫田代志昭 (二) 安部吉彦 (三) 飛田英雄

【二】 伊藤 矢内  
【商】 高橋将 及川, 佐々木虎

▽暴投 なし ▽ボーク なし ▽捕逸 なし ▽二塁打 高橋将, 佐々木虎 (二) (商)

先攻	チーム	【 仙 台 二 】				
打順	位置	氏名	打数	安打	打点	
1	8・3	樋口	2	0	0	
2	6	鈴木	4	0	0	
3	2	矢内	4	2	1	
4	5	中谷	1	0	0	
5	1	伊藤	4	1	1	
6	9	木皿	4	2	1	
7	7	成田	4	0	0	
8	4	吉田	3	2	0	
9	3	加藤	2	0	0	
	H	貫井詢	0	0	0	
	8	外山	1	0	0	
		計	29	7	3	

後攻	チーム	【 仙 台 商 業 】				
打順	位置	氏名	打数	安打	打点	
1	3・2	佐々木虎	4	1	2	
2	5	鈴木	3	0	0	
3	7	武山	4	0	0	
4	8	佐藤魁	4	0	0	
5	1	高橋将	4	2	0	
6	9	高橋颯	3	0	0	
7	6	佐々木蓮	2	0	0	
8	2	及川	1	0	0	
	3	佐藤楽	2	0	0	
9	4	平山	3	0	0	
		計	30	3	2	

【評】

快晴のもと行われた決勝戦は、昨年度の王者、仙台商業と、準決勝で定期戦勝負にて仙台一高を破り、流れにのる仙台二高との対戦となった。仙台二高は初回四球で出塁した樋口を三塁まで進め、3番矢内のレフト前適時打で貴重な1点を先取。仙台二高のエース伊藤のテンポの良いピッチングと力強いストレートで仙台商業打線を押さえる。守備で流れを作った仙台二高は8回、3番矢内のセンター前ヒット5番伊藤のセンター前ヒット6番木皿のレフト前の連打により2点を追加し仙台商業を突き放した。簡単には終わらない全大会王者の仙台商業。8回のウラ、5番高橋がレフトオーバーを放ち2塁打、続く振り逃げ、四球でチャンスを広げ1番佐々木のレフトオーバーで2点を返したが仙台二高、エース伊藤を中心に守りきり仙台商業の猛打をしのぐ。最終回も危なげないピッチングで仙台二高の伊藤が完投。9回3安打2失点の好投で守り抜き令和初の優勝を勝ち取った。

優勝校

仙台第二高等学校 (28年ぶり6回目)

第13回春季東北地区高等学校軟式野球大会 宮城県代表

仙台第二高等学校 (初)